

## 埋立後の土地利用の見通しは？



第 I 区域相当分(約96ha)を上回る需要があり、今後、現計画規模に見合う十分な土地需要が顕在化していくと想定されます。

- ✦ 平成14年3月に沖縄県と沖縄市が土地需要の確認作業を行いました。その結果によれば、**今後、現計画規模に見合う十分な土地需要が顕在化**していくと想定されます。
  - 仮に、社会情勢の変化により土地需要が低迷したとしても、**第 I 区域相当分(90ha)を上回る需要はある**と確認されています。これは、**観光立県を目指す沖縄県の政策目標**(平成23年時点における観光入域客数650万人)にも照らし、その妥当性が示されたものです。昨今、西海岸地域における土地需要が、引き続き堅調に推移していることも、その表れと考えられます。
- ✦ また、失業率や生産額といった数字に見られるように、地域間の格差がある中で、**県土の均衡ある発展のため、地域における雇用機会の増大を図るため、むしろ政策的にこれら土地利用を実現すべきもの**として捉える必要があると考えます。
- ✦ なお、**土地需要の確認作業については今後も随時行うこと**としています。